

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023年3月 8日

事業所名: 第2こぼと園 職員数6人 配布数6人 回収数6人 割合100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5	1	・子どもの数が多い時は、室内と外とで活動の場所を分けたりしている。 ・室内遊びの時は広くてちょうどいい広さだが、名前呼びや絵本を読む時に部屋が広いこともあって座ってられない子は遠くのマットに行ったりする場面がある。メリハリがつけられるように座って話を聞く時は半分の広さが良いと感じる。	○園庭が狭いため、引き続き、散歩や近くの公園、山などの園外活動などにとりくむ。 ○部屋は広いが、活動によって部屋や空間の使い方を工夫する。
	②	職員の配置数は適切であるか。	6	0		○職員の配置基準は満たしているが、職員体制整備・充実のための意見を関係団体の協議の場に挙げていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	5	1	・登園して室内に入るのに躊躇する子が外遊びを選択できるようにすぐに園庭があるのはいいと思う。 ・絵本の部屋のように、クールダウンできる部屋もあるので分かりやすくいいと思う。	○清潔で心地よい環境であるよう、保護者の協力も仰ぎながら努力する。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・通路が狭いところがある。 ・オゾン発生機の機械を設置していることできれいな空気になっているかと思う。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・定期的に部門で話をしている。 ・忙しい時期にはそれぞれの担当だけで活動内容を決めなければならない時があるので、全員での話し合いの時間を定期的に確保したい	○担当者会議、研修、ケース会議、など、取り組みの振り返りや見直しを行っているが、時間をかけてじっくりと行うことが難しい。時間の使い方、働き方などを検討・工夫しながら、適切に行っていくよう努力する。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	5	1	・昨年度の評価を受け改善している。	○保護者評価、事業所の自己評価をもとに今後生かしていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	5	1		○第三者による外部評価は未実施であり、今後必要に応じて実施を検討する。 ○研修を計画的に行い、職員の学ぶ意欲を高め、職員の専門性や人間性を高めるように努める。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	5	1	・日々の業務や事務作業が多く、勤務時間内に終わらないため、研修までできにくい。 ・勤務時間内にできるよう、園全体で工夫している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・職員間や保護者との話し合いの場をできるだけ確保しようと努力している	○第2こぼと園では、ガイドラインに沿った支援を次のように行っているが、さらに充実させるように努める。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	2	4	こどもにわかりやすいために、各々教材を工夫して用意している。	①親子通園で楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるように取り組んでいる。(発達支援)
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		②親子通園、保護者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいる。(家族支援)
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	6	0		③関係機関との連携、特に保育所や幼稚園・こども園などと併行通園している場合は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援している。(地域支援)
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・こどもの興味関心や発達課題についてチームで考えあって計画している	○子どもに合わせた適切な支援を行うよう、アセスメントを行い、児童発達支援計画を立てて活動プログラムを考え、日々の振り返りを通して次の活動にフィードバックしている。時間的な余裕がなく、職員全員で共有することが課題である。時

適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		間の使い方を工夫し、職員全員で共有することに努める。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	・基本的に集団療育のみを行っているので、集団中心に計画している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	・習慣化できていると思う	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0	・午後の反省が時間の制約があり、難しいことがある。	○日々短時間でも時間を有効活用し打ち合わせ、振り返り、見直しを行っている。日々の反省の中で、常に保護者の声などをフィードバックして、療育の質の向上に生かそうと努力している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		○活動プログラムや活動内容は、子どもの状態に合わせ適切に行われていると思われるが、さらに研修や検討を重ね、療育の質を向上させるよう努める。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	5	1	・半年に1度モニタリングをしている	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	3	3	・ほとんどの子がセルフプランなので、他の相談支援事業所との連携はしていない。	○子どもの状態に応じて、特に配慮を要する子どもとその家族に対して、必要に応じて関係機関(母子保健、ネウボラ課、障がい福祉課、保育課、学びづくり課、基幹相談支援センター、こども発達支援センター、子ども家庭センターなど)と連携し支援を行い、子どものすこやかな育ちを支えることができるように努める。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	3	3		○医療的ケア児ではない場合でも、必要があるときには、医療機関への紹介や情報共有などを行う。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	0	6	・現在は医療ケア児の在籍なし	○併行通園している保育所、幼稚園、子ども園との連携は重点を置いており、療育懇談会(年1回、グループごと、公開療育と懇談会)を設けて直接会って情報共有したり、研修会(療育研修会・聴覚障害研修会など)を開催することを計画していたが、新型コロナウイルスの流行により実施できていない。今後感染状況に応じて実施していきたい。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか。	0	6	・現在は医療ケア児の在籍なし	○移行支援、他機関との交流や情報共有、研修などについては、継続して行う。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	コロナのため交流会は実施できなかったが、適宜電話で連携をとったり、個別に園の先生にも来てもらっている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	5	1		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	1	5	併行通園であるため、日常的に保育所、幼稚園、こども園との交流を行っている。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1	園長、児発管が参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		○保護者への支援は、引き続き、親子通園、保護者懇談会などの日常的な支援と、年数回の保護者教室や学習会などの学びの場を設けていく。そのために、職員の研修を行い、より質の高い支援を行っていくよう努力する。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	4	2	・保護者に分かりやすいように伝え方を工夫している。	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	入園時(契約時)と年1回、年度初めに行っている。	<p>○ケースの多さから、一人ひとりに丁寧に児童発達支援計画などの説明が不十分である。今年度は、前期・後期に1回ずつ児童発達支援計画の提示を含めて懇談を行うよう計画していたが実施できていない。来年度は実施できるよう努力する。</p> <p>○日常的な保護者への説明や相談は行っているが、さらに保護者が相談しやすくなるように、職員との信頼関係を深め、職員が声をかけていくよう努力する。</p> <p>○個人情報の扱いについて細心の注意を払う。</p>
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の供給すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	2	4	・自事業所に保護者会のような組織はないが、各グループで保護者の懇談の機会を定期的に行っている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2	年に数回園だよりを発行している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	6	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	毎月避難訓練をしている。	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6	0	給食の職員と連携して対応をしている。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	3	3		

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		○各地で悲惨な虐待事件が報告される中で、虐待や身体拘束に関する研修を行い、日常に引き付けて考え、対処できるように取り組む。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和5年 月 日

事業所名:第2こばと園 保護者数(児童数)93 回収数70 割合75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60	8	1	1	・園庭のスペースがせまい。 ・園庭室内ともにもう少し広い方がよい。 ・スペースは十分に取れている。 ・プールの時死角が多い。	○基準以上のスペースは確保しています。活動内容によっては園外の公園に出かけるなどして工夫していきます。 ○死角になる場所がないように職員間で確認し安全を確保するよう努めます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	61	7	0	2	・職員の人数を増やしてほしい ・目が行き届きひとりひとりをよくみている ・子供の様子の変化に、誰かしらの職員が気付く事が出来ていると思う ・専門性の部分では疑問に思うことがある。突然子どもの行動を制限してしまう対応を見て、他に方法はなかったのかと思った。改善できればもっといい場所になれると思う。	○職員の配置基準を満たす人数を配置しています。 ○職員の専門性を高めるために、日々の話し合いや研修を行い、子どもたちや保護者の方たちがより安心して過ごせるように努めます。 ○第2こばと園は、今までも子どもたちにとってより良い環境になるように改修や修繕、様々な手立てを行ってきました。引き続き、皆様からのご意見を参考にしながら、子どもにとってより良い環境づくりに努めます。危険箇所は迅速に改善に努めます。 ○コロナ禍のため感染対策として換気は必要のため、皆さんの理解と協力をお願いします。
	③	生活空間は、本人に分かりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	54	12	1	3	・イラストの表示があった方が分かりやすいのではと思う。 ・タオルかけが自分でやりやすいように工夫してほしい。すぐ取れて落ちてしまう。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	51	16	3	0	・コロナ禍で換気しないといけないのは分かっているが、夏は暑く、冬は寒い。 ・椅子の下の埃が多いときがあった。掃除や整理整頓はもう少し必要だと感じるところがある。 ・施設の老朽化はあるが、先生たちがいつも綺麗にして、安全にしてくれている。	
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	62	6	0	2	・子どもの細かい部分まで見ていただき計画出来ていると思う ・普段の活動内容からもしっかり様子を観察して下さって、子どもをしっかり支援されていると思います。	○第2こばと園では、お子さんと保護者の方と一緒に通っていただき、楽しい遊びや体験を通して発達の土台の力を育て、意欲的で安定した生活が送れるようとりくんでいます。(発達支援)
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族	62	5	0	3	・併行通園している幼稚園とも連携をとっている	そして、親子通園、保護

適切な支援の提供	支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。						者懇談会などを通して、我が子を理解し子育てに元気と見通しが持てるように支援したいと取り組んでいます。(家族支援)
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	55	5	0	10	・単発的には子どもと関わろうとしてくれているが、子どもの変化や成長を継続的に捉えて貰えている実感がない。 ・公園遊びや散歩など、季節を感じながら親子でしっかり外遊びができています。	また、保育所や幼稚園・こども園などと併行通園されている方は、園との連携を通して、安定した生活が送れるように支援しています。(地域支援) これらガイドラインに沿った内容で児童発達支援計画を立てています。一人ひとりのニーズに合わせてより適切な支援に努めます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	62	6	0	2	・いつも子どもに分かりやすい活動を色々と考えてくださって有り難い。 ・選択制になっているので、子供がしたい事を想像し考え、決定権を持つ事ができる。	○子どもの変化や成長点について、保護者の方の協力を得ながら詳しく捉えて共有していけるよう努めます。 ○日常的に保育所等との併行通園をされている場合が多いので、障がいのない子どもと活動する機会があるとらえています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	35	7	13	15	・こばと園では交流はないが、こども園との併行通園なので特に必要はないと思う。 ・コロナ禍なので、仕方ないと思う。こばと園内ということであればありません。	○親子で通っていただき、親子で一緒に遊び、活動し、活動終了後には保護者懇談の時間を取り、活動の意味やこどもの様子について話し合います。その中で、できる限り、丁寧に説明したり、考えあったり、共有したりすることに取り組んでいます。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	68	2	0	0	・契約時と、年度初めに丁寧な説明があった。	個別の話を希望される方は、その時間をとるようにします。他にも電話、連絡帳などの方法で意思疎通を図ります。時間の限られた中ではありますが、工夫と計画性を持って努力したいと思います。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	63	2	0	5		○個人情報の扱いには細心の注意を払い、ミスのないように気を付けます。 ・準備物のことなど急な変更についての連絡については、漏れのないようにまたなるべく早く伝えるよう努めます。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか。	54	10	1	5	・保護者と先生の話合いの場が設けられていたり、活動中も先生との交流があり色々なアドバイスをいただいています。 ・懇談の時間がペアレントトレーニングにあたるのかもしれないが、個人的にはあまりアドバイスを貰った記憶がない。 ・②にもあげたが、職員の対応が突然子どもの行動を制限するなどの状況があると、保護者が関わりを学ぶのにはふさわしくないとと思う。	
	⑬	60	8	1	1	・連絡帳に子供の成長や出来事を記入して先	

保護者への説明等		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。					生と共有してもらっている。 ・日頃の子供の様子を話せなかったり、相談するのに、躊躇する事もある。 ・遊んでいる時に話を聞いてくれたり、話しかけてもらったりしている。また保護者のみで話合いの時間で良かった事や困り事なども話合っている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	58	10	1	1	1対1の話等はちょっと少ないのかな?と思います。療育の後、話し合いの場があるのがとても良いと思う。少し時間に追われてバタバタと帰りの時間になり、帰っていく感じがあまり話をするタイミングがあまりない。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	39	15	4	12	コロナの影響で難しいと思う。通い出したばかりで分からない。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	57	7	0	6	迅速で丁寧な対応をして下さるので何度も救われました。相談をした際には、迅速に対応してもらっている。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	62	6	0	2	要らないといわれていたものが、急に使うことがあり戸惑った。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	58	6	0	6	メール配信で以前より、えんだよりなど見やすくなりました。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	62	2	0	6	一度、各個人へ作られた計画書が他の子の生年月日、園名になっていたので注意してほしい。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	57	5	2	6	カレンダーで防災訓練の日にちを教えてくれており、当日も説明してくれている。	○避難訓練は、各グループ年1回は実施するように計画しています
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	57	4	3	6		

満足度	②② 子どもは通所を楽しみにしているか。	67	2	0	1	とても楽しみにしています。 明日はどこに行くの？の問に、いつも『こぼと〜』と答えている。	○活動の内容や時間の使い方を工夫して、子どもにも保護者の皆さんにも満足してもらえよう、引き続きニーズを把握し、努力していきます。
	②③ 事業所の支援に満足しているか。	58	10	1	1	次年度から午後からのグループになるが、療育の時間が短く、残念。子どもが遊びこめるか、短時間で楽しめるのか、考えて欲しい。 満足と言えば満足ですが、もう少し活動の幅が広げられそうだな？と思う時もあります。 ・コロナもあり、クッキングが無く残念。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。